

## 「福島市高齢者いきいきプラン 2024（素案）」の概要

### （1）計画策定の目的

2021（令和3）年に策定した「福島市高齢者福祉計画・福島市介護保険事業計画」の取組を継承しながら、「健康寿命の延伸と地域の支え合いの充実」を実現するために本計画を策定。

「福島市認知症施策－福島市オレンジプラン 2024－」を一体的に推進するため、その内容を包含。

### （2）計画策定（見直し）の背景

団塊の世代が75歳以上となり、本市の高齢者人口がピークを迎える2025（令和7）年、さらには団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年（令和22）年を見据え、高齢者の福祉施策と介護保険制度の持続可能性の確保や、地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムのさらなる深化を目指す計画として策定するもの。

### （3）計画の期間

令和6年度～令和8年度（3年間）

### （4）基本目標・成果指標

高齢者福祉施策及び介護保険制度の持続可能性の確保、地域包括ケアシステムの深化が重要ととらえ、基本目標を新たに「健康寿命の延伸と地域の支え合いの充実」とした。

上記を評価するアウトカム指標として「お達者度」と「高齢者や障がい者などへの福祉に対する満足度」の2つを掲げた。

### （5）現状分析と基本方針

#### 「基本方針1 いきいき暮らせるまちふくしまへ」

- ・運動器機能が低下している高齢者が増加傾向 ⇒健康づくりの取組の推進
- ・コロナ禍を経て、地域活動に関わる高齢者が減少傾向・定年延長などによる就労環境の変化 ⇒高齢者の社会参加促進  
取組にあたり、デジタルに親しむ環境づくりを進め、高齢者の社会参加を促進

#### 「基本方針2 高齢者を支える地域体制づくり」

- ・支援を必要とする高齢者の増加、閉じこもりリスクのある高齢者が増加傾向 ⇒多様な主体による見守りや安否確認などの生活支援・介護予防サービスの体制づくり、地域包括支援センターを軸とした支え合い活動

#### 「基本方針3 安心安全に暮らせるまちづくり」

- ・近年多発する災害 ⇒要支援者を地域で支え合える体制づくり
- ・要介護者数が増加見込み ⇒介護サービスの持続性・人材確保

(6) 基本施策  
体系図のとおり

<体系図>



(7) その他

第3章 介護保険事業量の見込みと介護保険料のうち、3-4 介護保険給付費の見込み、3-6 地域支援事業の事業費見込み、3-8 介護保険料については、現在最終調整中のためパブリック・コメントの対象から除く。